

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》○教授／越智 守生 准教授／広瀬 由紀人 講師／佐藤 寿哉 助教／仲西 和代 助教／野呂 大輔
 助教／原田 文也 助教／清水 伸太郎 助教／渋谷 徹 助教／建部 廣明
 助手／谷口 未季 助手／木村 聡 助手／山田 哲郎 助手／三上 進

【概要】

本科目は、1年前期に学ぶ歯の解剖学的知識や顎模型をもとに歯の形態を彫刻・再現することにより理解する。歯の石膏棒に彫刻することにより、解剖学で学んだ知識の理解を高め各歯の立体的特徴と形態を確実に習得する。これにより将来歯科医師として臨床に役立つことになる。

【学習目標】

- 上顎中切歯の形態的特徴を列挙する。
- 上顎犬歯の形態的特徴を列挙する。
- 上顎第一大臼歯の形態的特徴を列挙する。
- 下顎第一大臼歯の形態的特徴を列挙する。
- 下顎第一大臼歯の形態的特徴を考慮し、肉眼的に認識したものを立体的に忠実に再現彫刻する。
- 80分で1歯の彫刻を行う。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	石膏棒による歯型彫刻	面接授業では下顎右側第一大臼歯展開図の書き方の説明と下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う。 遠隔授業では上顎右側中切歯と下顎右側第一大臼歯の解剖学的特徴の説明、参考資料の説明を行う	越智 守生 広瀬 由紀人 佐藤 寿哉 野呂 大輔 仲西 和代 渋谷 徹 建部 廣明 清水 伸太郎 原田 文也 谷口 未季 木村 聡 山田 哲郎 三上 進
2	石膏棒による歯型彫刻	面接授業では下顎右側第一大臼歯展開図の書き方の説明と下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う 遠隔授業では上顎右側中切歯と下顎右側第一大臼歯の解剖学的特徴の説明、参考資料の説明を行う	越智 守生 広瀬 由紀人 佐藤 寿哉 野呂 大輔 仲西 和代 渋谷 徹 建部 廣明 清水 伸太郎 原田 文也 谷口 未季 木村 聡 山田 哲郎 三上 進
3	石膏棒による歯型彫刻	面接授業では小テスト（P18-P25）、下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う 遠隔授業では上顎右側犬歯と上顎右側第一大臼歯の解剖学的特徴の説明を行う	越智 守生 広瀬 由紀人 佐藤 寿哉 野呂 大輔 仲西 和代 渋谷 徹 建部 廣明 清水 伸太郎

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
			原田 文也 谷口 未季 木村 聡 山田 哲郎 三上 進
4	石膏棒による歯型彫刻	面接授業では小テスト（P18-P25）、下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う 遠隔授業では上顎右側犬歯と上顎右側第一大臼歯の解剖学的特徴の説明を行う	越智 守生 広瀬 由紀人 佐藤 寿哉 野呂 大輔 仲西 和代 浜井 徹 建部 廣明 清水 伸太郎 原田 文也 谷口 未季 木村 聡 山田 哲郎 三上 進
5	石膏棒による歯型彫刻	面接授業では小テスト（P34-P43，参考資料1）、下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う 遠隔授業では下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う	越智 守生 広瀬 由紀人 佐藤 寿哉 野呂 大輔 仲西 和代 浜井 徹 建部 廣明 清水 伸太郎 原田 文也 谷口 未季 木村 聡 山田 哲郎 三上 進
6	石膏棒による歯型彫刻	面接授業では小テスト（P34-P43，参考資料1）、下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う 遠隔授業では下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う	越智 守生 広瀬 由紀人 佐藤 寿哉 野呂 大輔 仲西 和代 浜井 徹 建部 廣明 清水 伸太郎 原田 文也 谷口 未季 木村 聡 山田 哲郎 三上 進
7	石膏棒による歯型彫刻	面接授業では小テスト（P60-P65，参考資料3，4）、下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う 遠隔授業では下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う	越智 守生 広瀬 由紀人 佐藤 寿哉 野呂 大輔 仲西 和代 浜井 徹 建部 廣明 清水 伸太郎 原田 文也 谷口 未季 木村 聡 山田 哲郎 三上 進
8	石膏棒による歯型彫刻	面接授業では小テスト（P60-P65，参考資料3，4）、下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う 遠隔授業では下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う	越智 守生 広瀬 由紀人 佐藤 寿哉

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
			野呂 大輔 仲西 和代 渋井 徹 建部 廣明 清水 伸太郎 原田 文也 谷口 未季 木村 聡 山田 哲郎 三上 進
9	石膏棒による歯型彫刻	面接授業では小テスト（P76-P89）冬休みの課題提出、下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う 遠隔授業では下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う	越智 守生 広瀬 由紀人 佐藤 寿哉 野呂 大輔 仲西 和代 渋井 徹 建部 廣明 清水 伸太郎 原田 文也 谷口 未季 木村 聡 山田 哲郎 三上 進
10	石膏棒による歯型彫刻	面接授業では小テスト（P76-P89）冬休みの課題提出、下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う 遠隔授業では下顎右側第一大臼歯の歯型彫刻を行う	越智 守生 広瀬 由紀人 佐藤 寿哉 野呂 大輔 仲西 和代 渋井 徹 建部 廣明 清水 伸太郎 原田 文也 谷口 未季 木村 聡 山田 哲郎 三上 進
11	石膏棒による歯型彫刻	小テスト（予備） 試験前練習（下顎右側第一大臼歯）	越智 守生 広瀬 由紀人 佐藤 寿哉 野呂 大輔 仲西 和代 渋井 徹 建部 廣明 清水 伸太郎 原田 文也 谷口 未季 木村 聡 山田 哲郎 三上 進

【評価方法】

〔評価方法〕 学習意欲・実習毎に行う課題（20％）・小テスト（25％）・宿題の提出状況（5％）と彫刻試験（50％）
・合計点が60％以上で合格と判定する。

【備考】

教科書：「歯型彫刻実習書」北海道医療大学歯学部 クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野 編
「歯型彫刻実習動画」北海道医療大学歯学部 クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野 編

参考書：「歯のかたち 初学者のための基礎と演習」永末書店

【学習の準備】

指定した実習書を事前に読んでおくこと。（10分）

専門用語は上記参考書や歯科医学大辞典（図書館蔵書）で事前に調べておくこと。（10分）

実習で提示した宿題は必ず提出すること。（30分）

実習書の予定表に小テストの実地日と範囲が記載されているので予習しておくこと。（20分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を修得している（専門的実践能力）。

【実務経験】

越智守生（歯科医師）、広瀬由紀人（歯科医師）、佐藤寿哉（歯科医師）、仲西和代（歯科医師）、野呂大輔（歯科医師）、
渋井 徹（歯科医師）、建部廣明（歯科医師）、清水伸太郎（歯科医師）、石川昌洋（歯科医師）、諏訪涼子（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

歯科医師免許の有するインストラクターが実務経験を活かし、歯型彫刻を通じて歯冠形態をイメージさせることで優れた教育成果が期待できる内容となっている。